

令和6年度 讃岐民芸館 瓦館特別企画展 II

「表情豊かな鬼たち」

朝鮮半島から伝わったとされる鬼の表情をした鬼瓦は、建物や家族を守る象徴として、奈良時代から屋根に飾られ始めたようです。二本の角が生えた鬼が登場するのは室町時代から。江戸時代になると、鬼より強いとされるしょうき鍾馗さんや七福神なども飾られるようになりました。

鬼瓦の鬼も作り手の「鬼師」によって表情が異なります。屋根の上から見下ろされていると怖そうですが、間近で見るとユーモラスで愛らしい表情の鬼もいます。

本企画展では、所蔵品の中から表情豊かな鬼ばかり約 20 点を展示します。最近の住宅にはほとんど見られなくなった鬼も、かつては家の守り神として威風堂々とした姿でした。そんな光景を想像しながら鑑賞してください。



◆開催概要◆

- 【会場】 特別名勝栗林公園 讃岐民芸館（瓦館）
- 【期間】 令和6年6月14日（金）～9月8日（日）
- 【料金】 無料 ※ただし栗林公園入園料が必要
- 【展示資料】 鬼瓦 14 点